

事前設定（1／2）マニュアル
(ASP1000R)



令和7年9月25日

目次

I 動作環境等について

II ファイアウォールの設定について

1. 「動作要件（ファイアウォール設定）」

- (1) 通信宛先とポート
- (2) 通信許可が必要なプログラム
- (3) ポップアップブロックの設定

2. 動作要件の確認が必要なネットワーク機器およびソフトウェア

- (1) インターネットを利用する際に通信制御を行っているネットワーク機器
- (2) 貴社のサーバーに常駐して通信制御を行っているソフトウェア
- (3) パソコンに常駐して通信制御を行っているソフトウェア

III 事前設定

1. ブラウザから起動するための事前準備

- (1) 「プロダクトキー」と「通信環境の設定」のメモ 【PC入れ替え時のみ】
- (2) インターネットオプションの変更
- (3) システム起動サイトへのアクセス
- (4) 事前設定

2. ブラウザからの起動確認

- (1) システム起動サイトへのアクセス
- (2) 最新年度版の起動確認
- (3) 過年度版の起動確認
- (4) 通信環境の設定

IV 卷末資料

- 1. システムのアンインストール方法
- 2. 画面ハードコピーの設定方法と出力方法
- 3. 利用上のご注意
- 4. ログオンユーザーのセキュリティ特権の確認方法

※ ご利用いただくPCの動作環境は「I 動作環境」をご確認ください。

※ 通信エラーが発生する場合は「II ファイアウォールの設定について」を貴社のネットワーク管理者の方などにご相談ください。

※ システムを利用前に、一度だけ事前準備として「III 事前設定」と「IV 卷末資料」の2~4をご確認ください。

※ システムを利用しなくなった場合は、「IV 卷末資料」の1の方法でアンインストールできます。

I 動作環境等について

1. 動作環境

OS	Windows 11 Enterprise/Pro/Home Windows 10 Enterprise/Pro/Home ※64 ビットに対応しています。(※1)
CPU	2コア以上、かつ、2GHz 以上 または、 6コア以上、かつ、1.2GHz 以上の Intel 製・AMD 製 CPU (※2)
メモリ	4GB 以上
ディスプレイ	1024×768 以上 High Color (16 ビット) 以上
フォントサイズ (DPI)	96DPI
必要なストレージ 空き容量	ミドルウェア 4.2GB 以上 システム本体 650MB 以上 (年度ごと) ※プログラムで使用する作業領域は別途必要です。
DVD ドライブ	不要
USB ポート	必要 (電子署名に IC カードリーダライタを用いる場合)
ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 4.7.2 Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 Microsoft .NET Framework 3.5 日本語 Language Pack Microsoft SQL Server 2022 Express Edition
インターネット環境	常時接続できるブロードバンド環境 (モバイル端末等は除く) でご利用ください。 ※地方税電子申告は、eLTAX の仕様により、プロキシサーバーの認証方式に関する制約として、 対応している認証方式は「BASIC 認証」「Digest 認証」「Negotiate(NTLM)認証」とされています。
OS の言語設定	日本語版 Windows のみ対応しています。 英語版の Multilingual User Interface による日本語環境は対象外です。

※1 Windows Update の「重要な更新と Service Pack」が 0 件になっていることが必要です。

« Windows 10・11 利用上のご注意 »

①タブレット PC に対応していません。また、Windows 10 には、ノート PC をタブレット PC のように扱える「タブレットモード」が搭載されていますが、上記同様に TPC システムは「タブレットモード」にも対応していませんので、ノート PC では「タブレットモード」を利用しないでください。

②タッチパッドジェスチャー機能に対応していません。

※2 ARM (アーム) プロセッサは、主にスマートフォン等で使用されています。ARM プロセッサを搭載したパソコンでは利用できません。

※3 コンピュータ名は、半角英数字のみをご利用ください。Windows のログオンユーザ名は、半角文字のみをご利用ください。現在ご利用のユーザ名に全角文字が混在する場合は、新規にユーザ (ユーザ名が半角のみ) を登録して、ご利用ください。コンピュータ名とログオンユーザ名は、異なる文字列で登録してください。

※4 仮想化環境でのシステムの動作は保証いたしません。また、仮想化環境に起因する問題は、サポート対象外とさせていただきます。

2. インストール作業時にパソコンにログインするユーザー権限

インストールする際は、次の要件を満たすユーザーで行ってください。

- (1) 管理者の権限がある (Administratorsに属している)。
- (2) ローカルセキュリティポリシーでAdministratorsに次のセキュリティ特権が割り当てられている。
 - ①ファイルとディレクトリのバックアップ
 - ②プログラムのデバッグ
 - ③監査とセキュリティログの管理

※詳細は、巻末資料「4. ログオンユーザーのセキュリティ特権の確認方法」を参照してください。

3. インストールするパソコンのコンピューター名

システムでは、SQL Server を使用します。

そのため、コンピューター名は半角英数字のみ(15文字まで)としてください。

4. その他の注意事項

- (1) インストール先フォルダの制限

システムが登録されるフォルダには、『書き込み不可』の権限をかけないでください。

O S		インストール先フォルダ
Windows 10	64bit	C:¥Program Files (x86)¥TKC¥ASP1000
Windows 11		C:¥Program Files (x86)¥TKC¥ASP1000R C:¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET

- (2) ドライバの対応状況

ICカードリーダライタや電子証明書のドライバが、ご利用のO Sをサポートしているかをご確認ください。

- (3) パソコンの電源設定

Windows PC 自動節電プログラムをご利用の場合には、システムが正しく動作しません。

- (4) パソコンのフォントサイズ

パソコンのフォントサイズを「標準」以外に設定して動作すると、以下の現象が発生する場合がありますのでご注意ください。

- ①入力項目が画面から隠れてしまう。
- ②出力した帳表の印字文字(数値)がすべて出力されない(途中で途切れたようになる)。

II ファイアウォールの設定について

システムを利用するためには、ファイアウォール・ソフトおよびファイアウォール機器等がシステムの通信を許可する設定となっている必要があります。このため、貴社のシステム担当者殿に以下の設定となっていることをご確認ください。

1. 「動作要件（ファイアウォール設定）」

(1) 通信宛先とポート

貴社のネットワーク上でファイアウォール機器等が動作している場合、以下の通信宛先およびポートへの通信を許可する設定となっていること。

行	通信宛先	ポート
1	https://asp1000.tkc.co.jp	443
2	https://www.prft.tkc.co.jp	443
3	https://tkcsaas.tkc.co.jp	443
4	http://ctsdwnld.tkc.co.jp	80
5	https://ctsdwnld.tkc.co.jp	443
6	https://www.tkc.jp	443
7	https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp	443
8	https://www.portal.eltax.lta.go.jp	443
9	https://gprooe.tkc.co.jp	443
10	https://cts.tkc.co.jp	443
11	https://slapi2.tkc.co.jp/	443
12	https://jfcpta-rssp.hsm.toshiba.co.jp	443
13	https://nzs6.e-probatio.com	443
14	https://www.e-probatio.com	443

※行10については、「TKCからのお知らせ」にて使用します。

※行12、行13、行14については、「第六世代税理士用電子証明書」で電子署名する際に使用します。

(2) 通信許可が必要なプログラム

ご利用のパソコンでファイアウォール・ソフトが動作している場合、以下のプログラム（ファイル）からの通信を許可する設定となっていること。

ファイル名	プログラム名	ファイルが存在するフォルダ
AM*.exe, AK*.exe, AM*.dll, AK*.dll (※2)	ASP1000	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000 C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\AKR20XX (※1)
AK*.exe (※2)	PGDLMGR	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\PGDLMGR (※1)
AK*.dll (※2)		

LDClient.exe OEClient.exe	ASP1000	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\LDClient C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\OEClient (※1)
PD4GTClient.exe	ダウンロード	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\AKR20XX\PD4GT (※1)
TRInst.exe	ASP1000	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\AKR20XX\
TRInstall.exe		CZMTOOL
AKCTCzmReset.exe		(※1)
TKCDownloadController.exe TKCDownloader.exe	ダウンロード	C:\Program Files (x86)\TKCDOTNET\TKCDownloader (※1)
PGMUP_Client.exe	ASP1000	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\PGMUP (※1)(※3)
TKCAppLoader.exe TKCAppStart.exe	ダウンロード	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\Starter
eT*.exe (※2)	ASP1000	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\AKR20XX\ETAX (※1)
eT*.exe (※2)	TKC電子申告システム	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\AKR20XX\ETCsvConv\CsvConv (※1)
CSV*.exe (※2)	TKC電子申告システム	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\AKR20XX\ETFM (※1)
A10*.exe (※2)	ASP1000R	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\AKR20XX\T10 (※1)
AK*.exe (※2)	TKC TaxSystem Warning	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000\AKR20XX\Warning (※1)

※1. 「20XX」の4桁の数字は各年度版の西暦年を表していますので、ご利用しているシステムの年度に応じて読み替えてください。

※2. 以下のファイルは複数のファイルがあります。

また、dllは、ソフトによって設定する必要のない場合があります。

ファイル名の接頭辞	拡張子
「AM」「AK」「eT」「CSV」「A10」で始まる拡張子 exe のファイル	EXE
「AM」「AK」で始まる拡張子 dll のファイル	dll

※3. 「システムの更新方法の設定」画面（運用管理システムにログインする権限が必要）で使用します。

(3) ポップアップブロックの設定

ご利用のパソコンでブラウザのポップアップブロックの設定が動作している場合、「許可されたサイ

ト」に以下の(株)TKCのサイトを追加し、ポップアップを許可する設定となっていること。

許可されたサイト
*.tkc.co.jp
*.tkc.jp

2. 動作要件の確認が必要なネットワーク機器およびソフトウェア

通信の制御は以下のネットワーク機器およびソフトウェアなどで行われています。設定が上記1の動作要件を満たしていることをご確認ください。

(1) インターネットを利用する際に通信制御を行っているネットワーク機器

- ①ファイアウォール機器
- ②プロキシサーバー

地方税eLTAX仕様では、プロキシサーバーの認証方式に関する制約として、対応している認証方式は以下の認証方式とされています。ご利用のパソコンからインターネットに接続する経路に認証が必要なプロキシサーバーがある場合は、以下の認証方式であるかをご確認ください。

- ・BASIC認証
- ・Digest認証
- ・Negotiate (NTLM) 認証

③IPS (侵入防止システム)

システムのSSLで暗号化した通信を遮断しない設定となっているかをご確認ください。

④ルータ (スイッチ) など

※なお、システムでは「HTTP/1.1プロトコル」、および「最新のルート証明書」で通信を行っております。そのため、貴社のネットワーク機器で「HTTP/1.1プロトコル」による通信が可能か、Windowsのルート証明書の更新機能またはルート証明書の更新プログラム(KB931125)で「最新のルート証明書」による通信が可能か、併せてご確認ください。

(2) 貴社のサーバーに常駐して通信制御を行っているソフトウェア

- ①i-FILTER (デジタルアーツ社) など

(3) パソコンに常駐して通信制御を行っているソフトウェア

- ①ウイルスバスター (トレンドマイクロ社)
- ②Personal Firewall Plus (マカフィー社)
- ③Norton Internet Security (シマンテック社)
- ④i-フィルター (デジタルアーツ社) など

III 事前設定

1. ブラウザから起動するための事前準備

※事前に、貴社のシステム担当者殿に「II ファイアウォールの設定について」の設定となっていることをご確認ください。

(1) 「プロダクトキー」と「通信環境の設定」のメモ 【PC入れ替え時のみ】

※既にご利用のPC(旧PC)から、新しいPC(新PC)へ入れ替え時のみご確認ください。

新PCでプロダクトキーの入力と通信環境の設定が必要となるため、下記の手順で旧PCの情報をメモします。

①「プロダクトキー」の確認

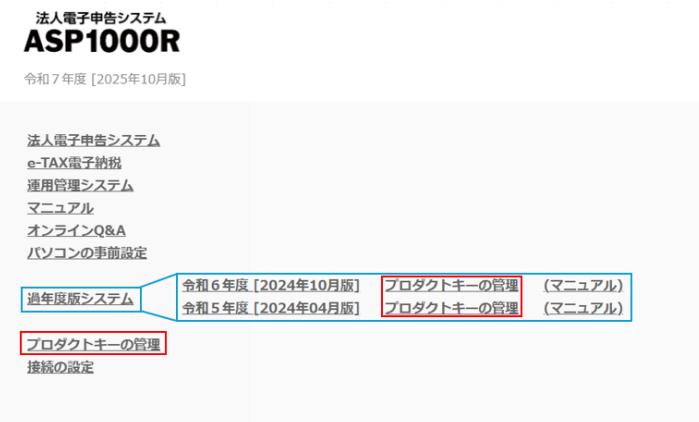
パソコンに登録しているすべての年度についてご確認をお願いします。

1) ブラウザ起動の場合

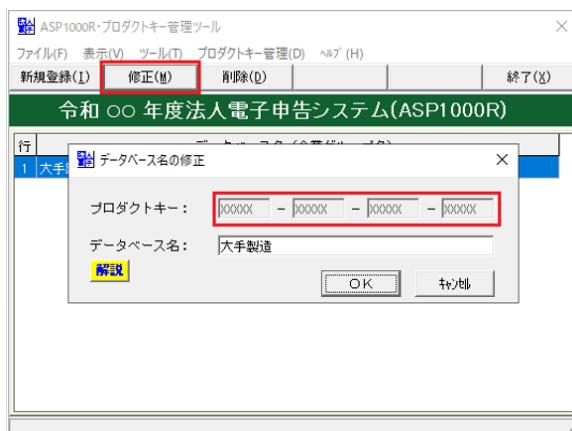
a. システム起動サイトにログインし、下記のリンクをクリックします。

i) 最新年度分：「プロダクトキーの管理」

ii) 過年度分：「過年度版システム」－「プロダクトキーの管理」



b. 修正ボタンをクリックし、プロダクトキーを控えておいてください。



2) ショートカット起動（旧起動方法）の場合

a. Windowsの[スタート]ボタン－[(すべての)プログラム]－[TKCシステム]－[〇〇年度法人電子申告システム (ASP1000R)・プロダクトキー管理ツール]を選択します。

※Windows 11 の場合は[すべてのアプリ]を選択します。

b. 修正ボタンをクリックし、プロダクトキーを控えておいてください。

② 「通信環境の設定」の確認

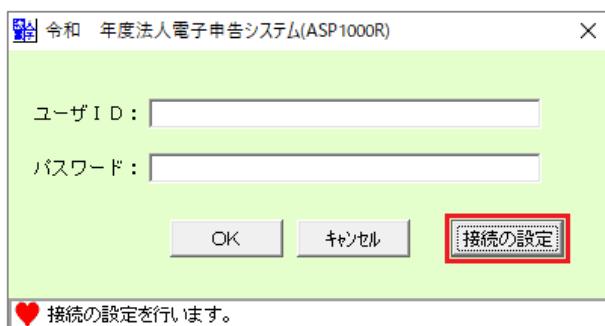
1) ブラウザ起動の場合

- a. システム起動サイトにログインし、「接続の設定」のリンクをクリックします。
- b. 「通信環境の設定」画面の設定を控えてください。



2) ショートカット起動（旧起動方法）の場合

- a. パソコンに登録している最新年度のシステムを起動し、ログイン画面の「接続の設定」ボタンをクリックします。

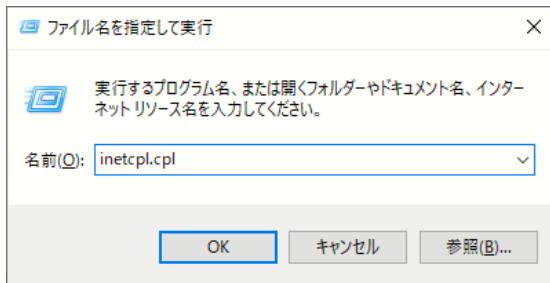


- b. 「通信環境の設定」画面の設定を控えておいてください。

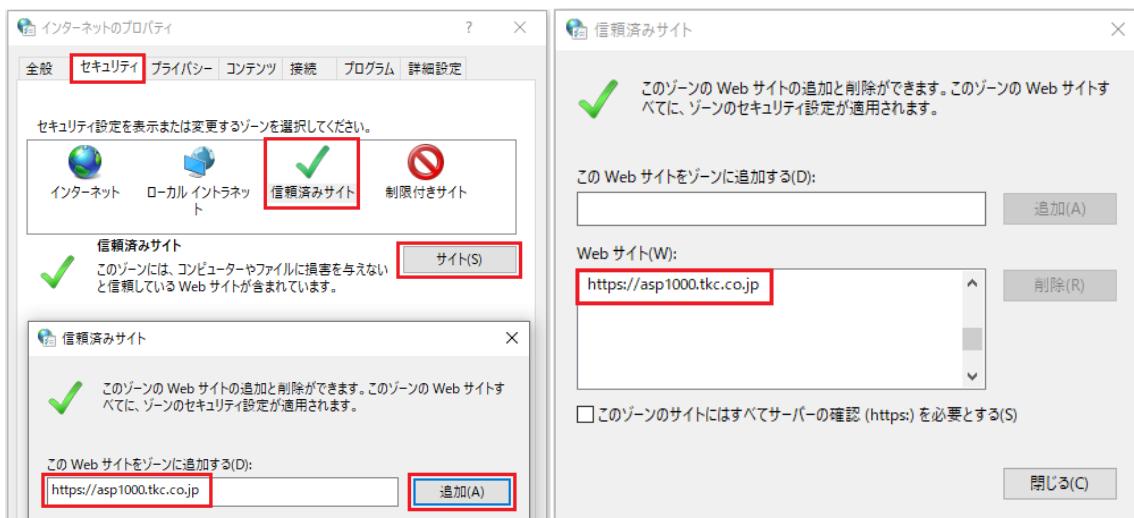
(2) インターネットオプションの変更

① 信頼済みサイトの設定

- 1) 「Windowsキー + r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。
※ Windowsキーは、キーボード左下のWindowsの窓マークのキーです。
- 2) 「inetcpl.cpl」と名前欄に入力し、「OK」ボタンをクリックします。



- 3) 「セキュリティ」タブをクリックします。
- 4) 「セキュリティ設定を表示するまたは変更するゾーンを選択してください。」で「信頼済みサイト」をクリックします。
- 5) 「サイト(S)」ボタンをクリックします。
- 6) 「信頼済みサイト」画面が表示されたら、「この Web サイトをゾーンに追加する」に「https://asp1000. tkc. co. jp」（「」は入力不要です。）を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



- 7) 「Webサイト」に「https://asp1000. tkc. co. jp」（「」は除きます）が表示されることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックして「信頼済みサイト」画面を閉じます。
- 8) 「インターネットオプション」画面も「OK」ボタンをクリックして閉じます。

(3) システム起動サイトへのアクセス

①WEB ブラウザを起動し、ご案内している起動 URL を入力してください。

下記ログイン画面にて、「ユーザID」「パスワード」を入力してください。

※次のブラウザから起動できます。

(「Microsoft Edge」「Google Chrome」)

※「Microsoft Edge」はChromium版も対応しています。



②「パソコンの事前設定」のリンクボタンをクリックしてください。

(4) 事前設定

- ①「事前設定（1／2）」のリンクをクリックし、「事前設定（1／2）」をインストールしてください。

**法人電子申告システム
ASP1000R**

当パソコンで初めてシステムを利用する場合は、マニュアルをご確認の上、
「事前設定（1／2）」と「事前設定（2／2）」をクリックしてください。

事前設定（1／2） 【※要管理者権限】 **マニュアル**

システムをご利用いただくために必要なPCのセキュリティ設定およびプログラムを配付するツールを登録します。

事前設定（2／2） 【※要管理者権限】 **マニュアル**

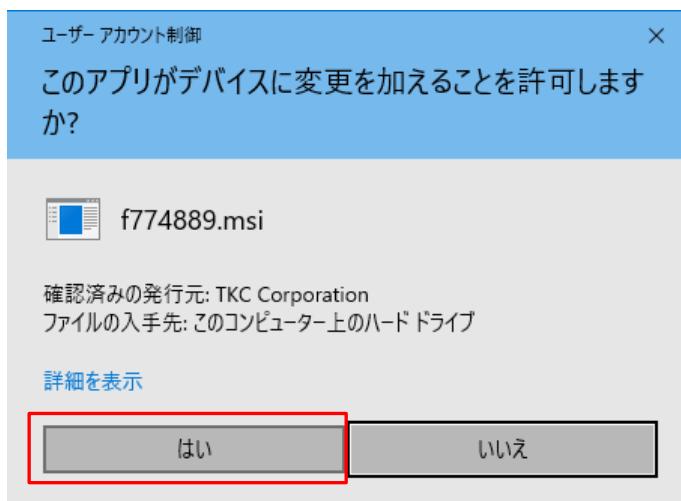
システムをご利用いただくために必要なミドルウェアを登録します。

※実行するには 管理者権限が必要です。

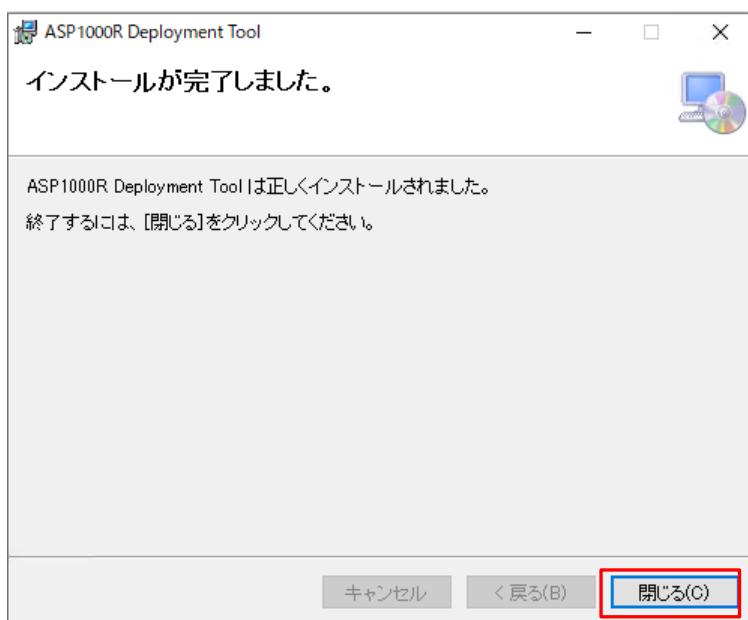
※「事前設定（1／2）」のリンクをクリックしても「反応しない」または「安全にダウンロードすることはできません」のメッセージが表示される場合には、[オンラインQ&A（整理番号：0099244）](#)をご確認ください。

※下記の画面が表示される場合があります。

「実行」「はい」をクリックし、処理を続行してください。



インストール終了後、下記の画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしてください。



②「事前設定（2／2）」のリンクをクリックしてください。

ダウンロードが始まります。しばらくお待ちください。

ダウンロード終了後、注aの画面が表示される場合があります。

「はい」をクリックし、処理を続行してください。

「事前設定（2／2）」起動後は、「事前設定（2／2）マニュアル」に従い、必要なミドルウェア等を登録してください。

法人電子申告システム **ASP1000R**

当パソコンで初めてシステムを利用する場合は、マニュアルをご確認の上、
「事前設定（1／2）」と「事前設定（2／2）」をクリックしてください。

事前設定（1／2）【*要管理者権限】 マニュアル

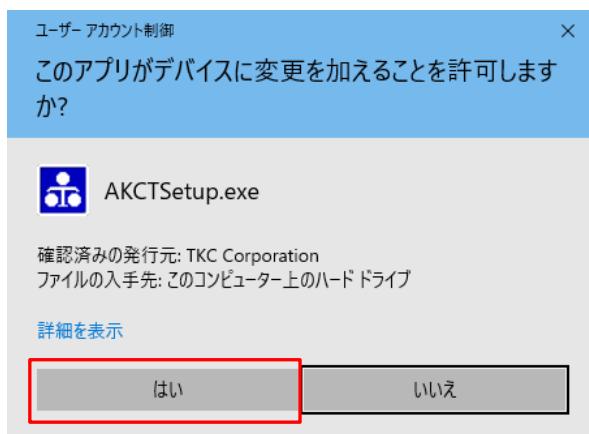
システムをご利用いただくために必要なPCのセキュリティ設定およびプログラムを配付するツールを登録します。

事前設定（2／2）【*要管理者権限】 マニュアル

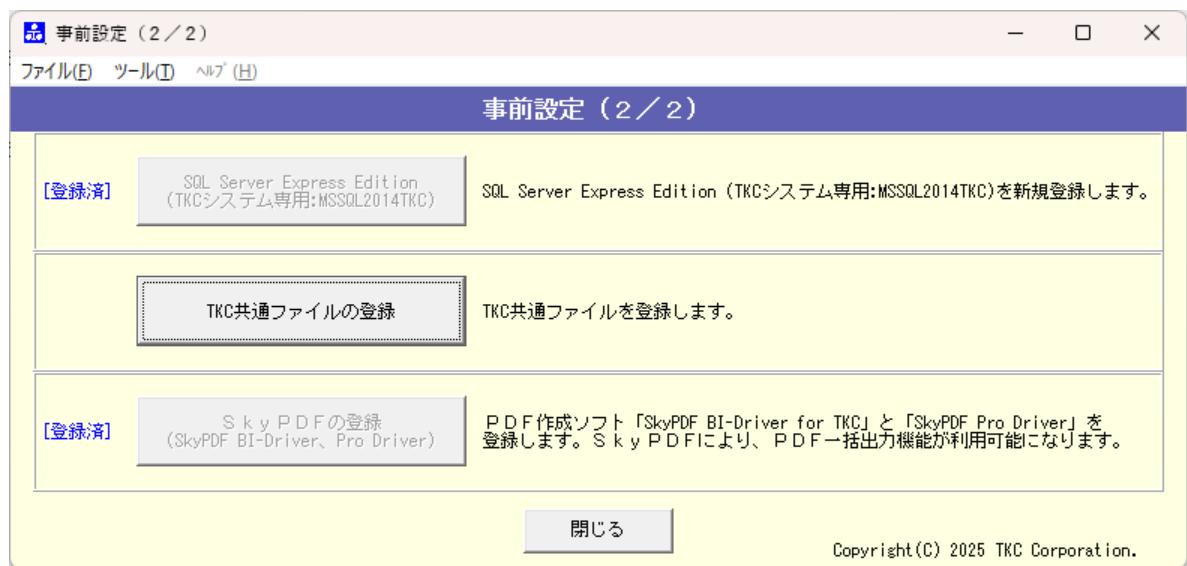
システムをご利用いただくために必要なミドルウェアを登録します。



注a



- ※ 実行するには 管理者権限が必要です。
- ※ 「TKC共通ファイルの登録」は、登録ステータスが表示されないため処理が漏れやすいため、必ず行っていただけますようご注意ください。（「事前設定（2／2）マニュアル」参照）



2. ブラウザからの起動確認

(1) システム起動サイトへのアクセス

WEB ブラウザを起動し、ご案内している起動 URL を入力してください。

下記ログイン画面にて、「ユーザ ID」「パスワード」を入力してください。

※通常システムをご利用になる際の「ユーザID」「パスワード」と同じです。



(2) 最新年度版の起動確認

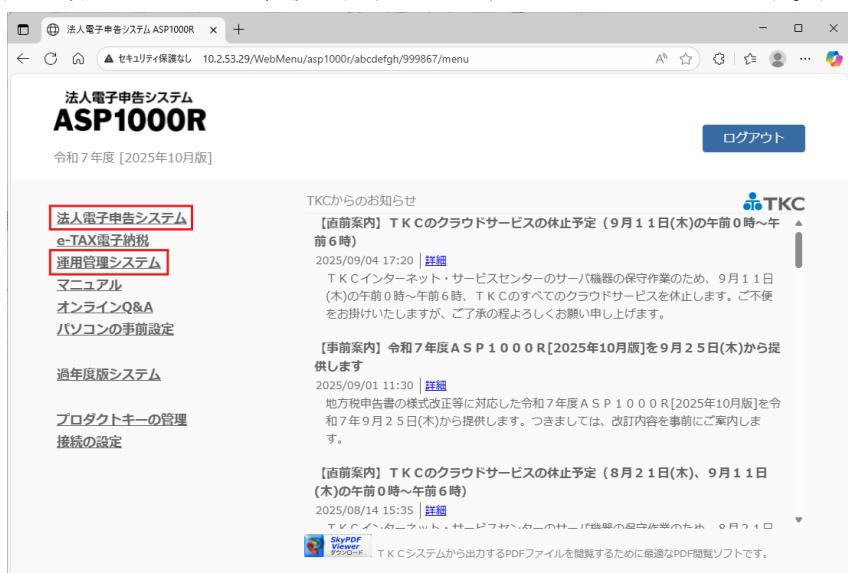
各システムのリンクボタンをクリックし、システムが起動することを確認してください。

※プロダクトキーの登録が未了の場合には、注a及び注bの画面が表示されます。

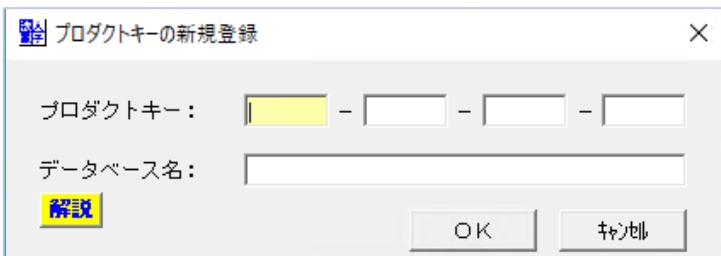
ご利用企業のご利用年度のプロダクトキーの登録および通信環境の設定をしてください。

※最新年度のプロダクトキーの登録が行われていないと、運用管理の起動時に最新年度のプロダクトキーの登録が求められるのでご注意ください。

(運用管理システムは、親法人様のみご利用できるシステムです。)

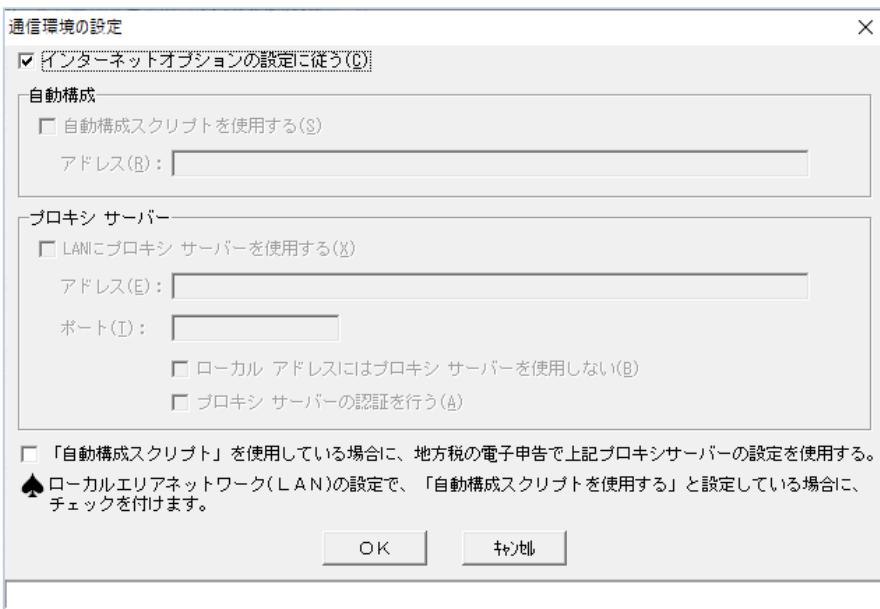


注a



※ 新規PCへ移行の場合は、上記1. (1)①で控えていただいたプロダクトキーです。
システムを初めてご利用の場合や、プロダクトキーがご不明な場合は、親法人様に
ご確認ください。

注b



※ 新PCへ移行の場合は、上記1. (1)②で控えていただいた通信環境の設定です。
システムを初めてご利用の場合や、設定方法がご不明な場合は、後記の1. (4)を
ご確認いただきご設定ください。

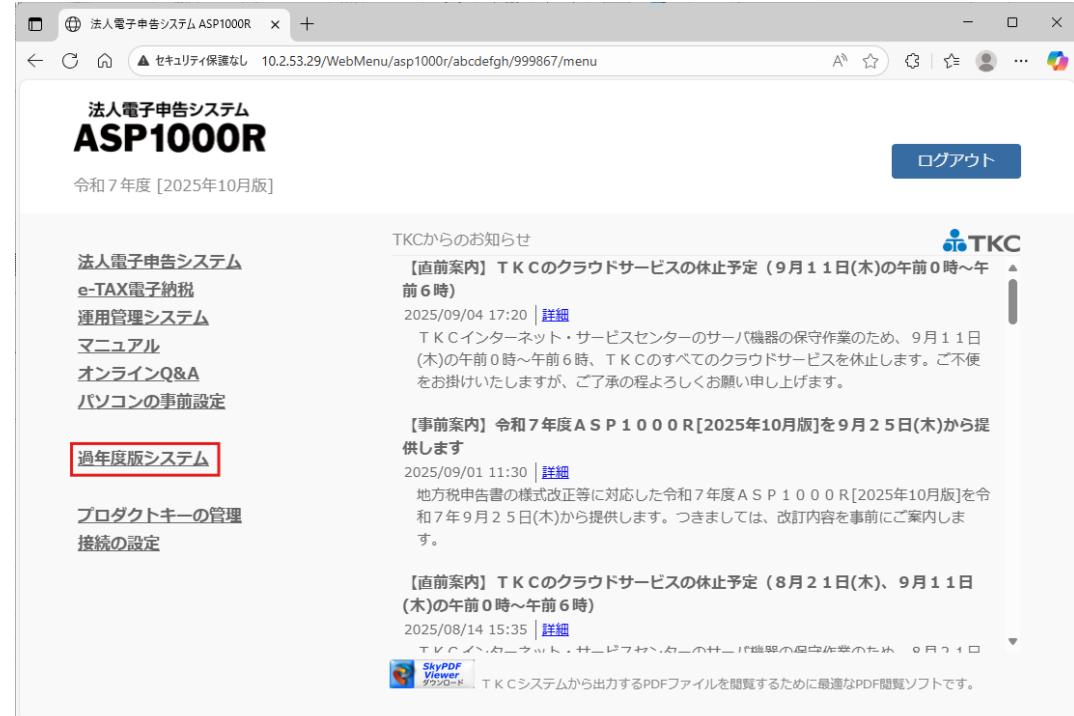
(3) 過年度版の起動確認

過年度版システムについては、「過年度版システム」のリンクボタンをクリックすると、過年度版用の起動ページを表示します。システムが起動することを確認してください。

※プロダクトキーの登録が未了の場合には、注a及び注bの画面が表示されます。

ご利用企業のご利用年度のプロダクトキーを登録してください。

※システム起動時に注cの画面を表示します。ユーザID・パスワードを入力し、ログインしてください。



法人電子申告システム
ASP1000R

令和7年度 [2025年10月版]

法人電子申告システム
e-TAX電子納税
運用管理システム
マニュアル
オンラインQ&A
パソコンの事前設定

過年度版システム

プロダクトキーの管理
接続の設定

TKCからのお知らせ

【直前案内】TKCのクラウドサービスの休止予定 (9月11日(木)の午前0時～午前6時)

2025/09/04 17:20 | 詳細

TKCインターネット・サービスセンターのサーバ機器の保守作業のため、9月11日(木)の午前0時～午前6時、TKCのすべてのクラウドサービスを休止します。ご不便をお掛けいたしますが、ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

【事前案内】令和7年度ASP1000R[2025年10月版]を9月25日(木)から提供します

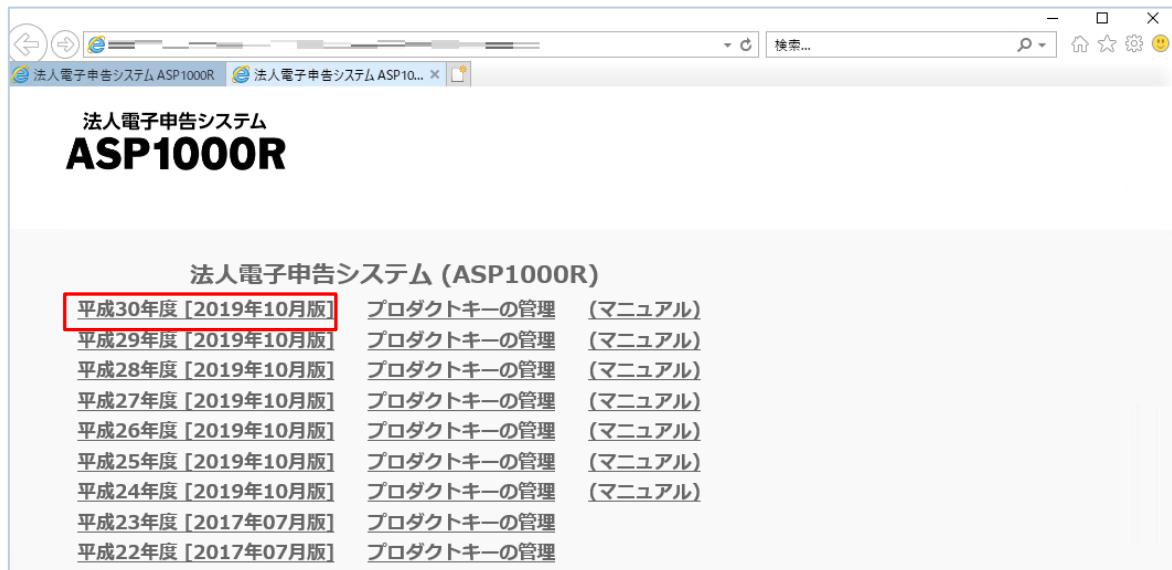
2025/09/01 11:30 | 詳細

地方税申告書の様式改正等に対応した令和7年度ASP1000R[2025年10月版]を令和7年9月25日(木)から提供します。つきましては、改訂内容を事前にご案内します。

【直前案内】TKCのクラウドサービスの休止予定 (8月21日(木)、9月11日(木)の午前0時～午前6時)

2025/08/14 15:35 | 詳細

 TKCシステムから出力するPDFファイルを閲覧するために最適なPDF閲覧ソフトです。



法人電子申告システム
ASP1000R

法人電子申告システム (ASP1000R)

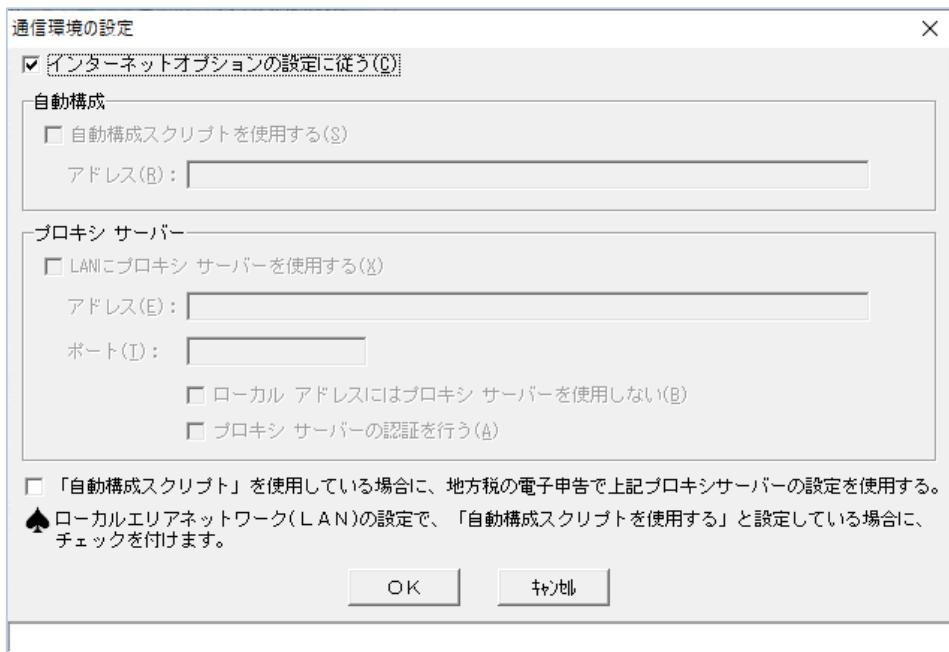
平成30年度 [2019年10月版]	プロダクトキーの管理 (マニュアル)
平成29年度 [2019年10月版]	プロダクトキーの管理 (マニュアル)
平成28年度 [2019年10月版]	プロダクトキーの管理 (マニュアル)
平成27年度 [2019年10月版]	プロダクトキーの管理 (マニュアル)
平成26年度 [2019年10月版]	プロダクトキーの管理 (マニュアル)
平成25年度 [2019年10月版]	プロダクトキーの管理 (マニュアル)
平成24年度 [2019年10月版]	プロダクトキーの管理 (マニュアル)
平成23年度 [2017年07月版]	プロダクトキーの管理
平成22年度 [2017年07月版]	プロダクトキーの管理

注a



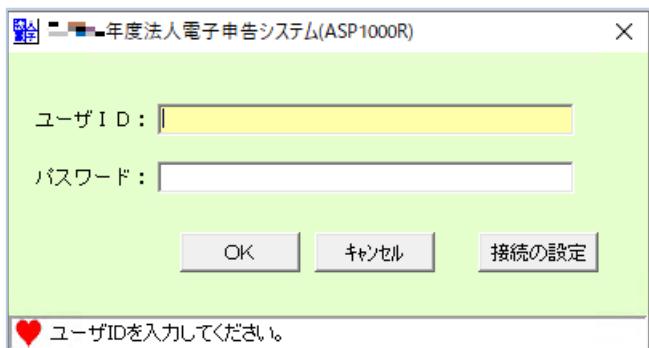
※ 新PCへ移行の場合は、上記1. (1)②で控えていただいたプロダクトキーです。
システムを初めてご利用の場合や、プロダクトキーがご不明な場合は、親法人様に
ご確認ください。

注b



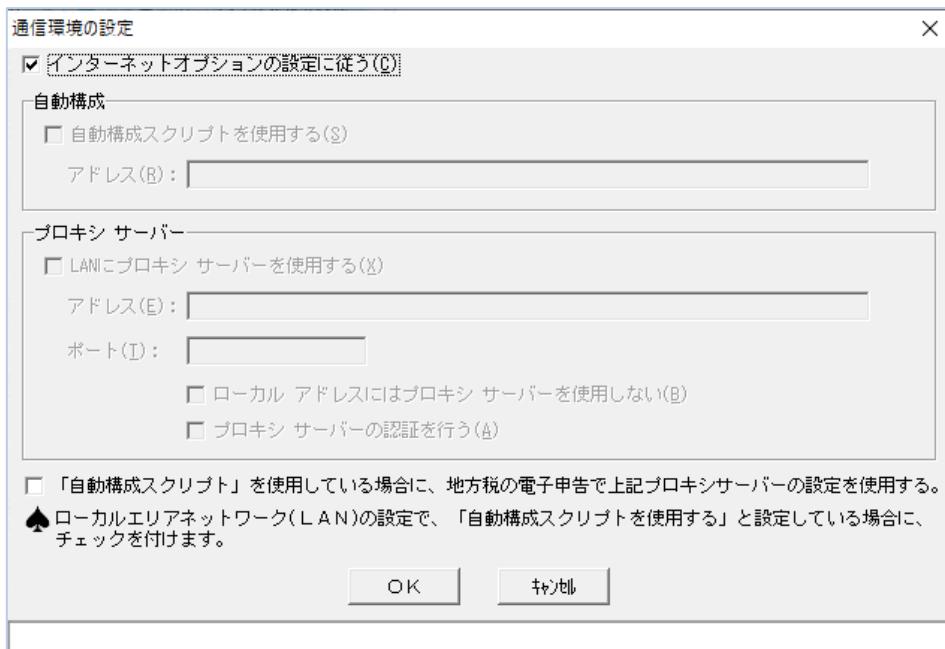
※ 年度共通のため、一度設定されていれば設定済です。

注c



(4) 通信環境の設定

※「接続の設定」のリンクボタンをクリックすることでも下記の設定が可能です。
ご利用の環境に応じた設定をしてください。



行	インターネットへの接続	処理
1	インターネットオプションの設定に従う	ブラウザの設定を自動的に取得します。 ブラウザと同じ設定とする場合には、同項目にチェックを付けてください。
2	自動構成スクリプトを使用する	ブラウザとは異なる自動構成スクリプトを使用する場合には、同項目にチェックを付け、「アドレス」を入力してください。
3	LAN にプロキシサーバを使用する	ブラウザとは異なるプロキシサーバを指定する場合には、同項目にチェックを付け「アドレス」と「ポート」を入力してください。 プロキシサーバで認証を行っている場合は、「プロキシサーバの認証を行う (A)」にチェックを付けてください。

※プロキシサーバを使用していない場合には、上記 1～3 のチェックを付けないでください。

※プロキシサーバに関しては、貴社のネットワークシステム管理者におたずねください。

IV 卷末資料

1. システムのアンインストール方法

ブラウザ起動のシステムアンインストールは下記(1)、旧方式のショートカット起動のアンインストールは下記(2)を行ってください。

なお、ブラウザ起動の場合は、全てのプログラムを削除する場合は①、特定の年度版システムのみ削除する場合は(1)②(1)を行ってください。

(1) システムの削除(ブラウザ起動)

①プログラムの全削除

1) 事前設定 (1／2) 以外のプログラム

C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000R\Starter\プログラム削除ツール.bat を右クリックし、

「管理者として実行」から当該 bat ファイルを実行します。

(うまく実行できない場合は bat ファイルをダブルクリックしてください。)

下記の a.～c. のプログラムが削除されます。

※ Starter フォルダ以外が削除されます。

a. ご利用の全年度の年度版システム

b. 運用管理システム

c. 事前設定 (2／2)

2) 事前設定 (1／2)

a. 下記 2 つ(i)か ii) のいずれかの方法を行います。

i) コントロールパネルの「プログラムと機能」から「ASP1000R Deployment Tool」をアンインストールする

ii) 「事前設定 (1／2)」のリンクから「ASP1000R Deployment Tool」の実行中に「削除」を実行する。

b. 下記フォルダを削除します。

C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000R\Starter

②特定のプログラムの削除

C:\Program Files (x86)\TKC フォルダで下記の作業を行います。

1) 年度版システム

削除したい年度について下記 2 つのフォルダを削除します。

a. ASP1000R\AKRYYYY

b. ASP1000R\AKRverchk\AKRYYYY

※ 「YYYY」はご利用の年度により異なります。

(例) 令和元年度の場合は「2019」、平成30年度の場合は「2018」となります。

2) 運用管理システム

下記2つのフォルダを削除します。

- a. ASP1000
- b. ASP1000RYAKRverchkYAKRCTRL

3) 事前設定 (2/2)

下記のフォルダを削除します。

- a. ASP1000RYSetEnv

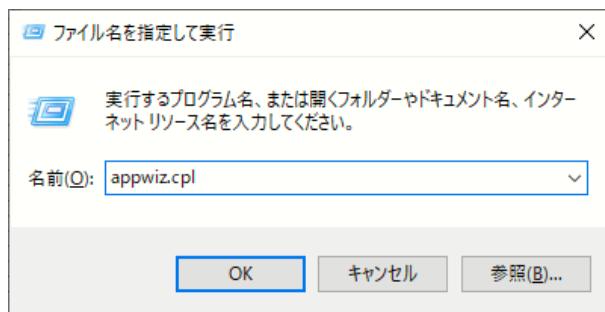
4) 事前設定 (1/2) の場合

上記(1)①②と同様の処理です。

(2) システムの削除(旧方式 ショートカット起動)

コントロールパネルの「プログラムと機能」から削除します。

- ① 「Windowsキー + r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。
※ Windowsキーは、キーボード左下のWindowsの窓マークのキーです。
- ② 名前欄に「appwiz.cpl」と入力してOKをクリックします。(「」は入力不要です。)



- ③ 「プログラムと機能」が表示されるので、不要なシステムをアンインストールしてください。

1) ○○年度/法人電子申告システム(ASP1000R)

2) ASP1000R 運用管理システム

※ DVD(ISO)からインストールされていない場合は表示されません。

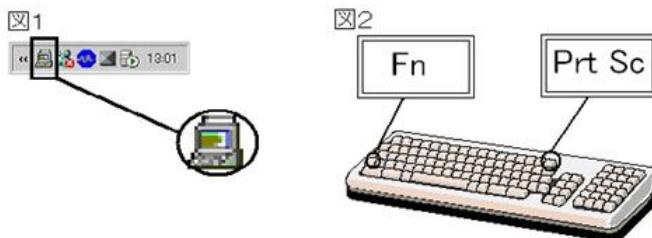
※ 「○○」はご利用の各システム年度です。(例)「令和元年度」「平成30年度」

2. 画面ハードコピーの設定方法と出力方法

(1) 画面ハードコピーとは

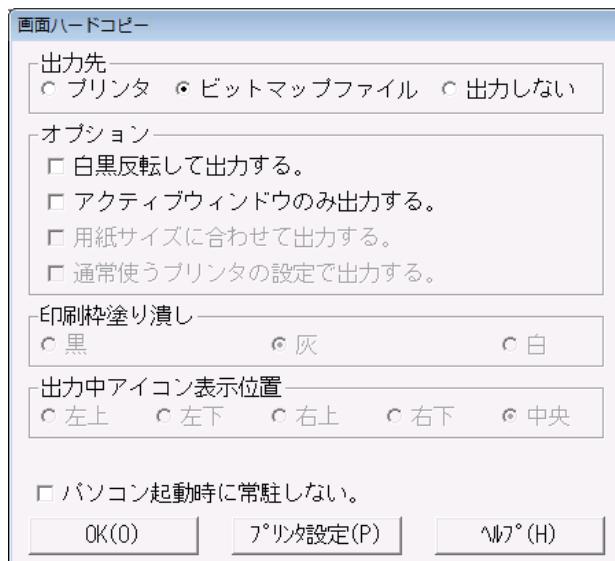
①現在使用中の画面を設定されたプリンタ（又はファイル）に出力するツールです。

システムをインストールすると画面上のタスクバーに下のアイコンが表示されます。こちらをクリックすることで出力先の設定等を行い、キーボードの[Prt Sc] (Print Screen)キー（ノートパソコンの場合は[Fn] + [Prt Sc] (Print Screen)キー）を押下して出力します。



(2) 画面ハードコピーの設定方法

①上記のアイコンをクリックしてください。下の画面が表示されます。



②出力先

「出力先」の選択	処理の概要
プリンタ	プリンタから印刷
ビットマップファイル	ビットマップファイルを作成 ビットマップファイルを保存する場所を選択肢、ファイル名を指定して[保存]ボタンをクリック
出力しない	クリップボードに画像を保存

(3) 画面ハードコピーの出力方法

3. 利用上のご注意

(1) Windows 10・11 利用上のご注意

①タブレットPC（ノートPCをタブレットモードで利用する場合を含む）への対応

- 1) Windows 10・11 はタッチ操作が可能なため、タブレット PC にも搭載されて販売されていますが、TKC システムはタブレット PC に対応していませんので、ご注意ください。
- 2) また、Windows 10 には、ノート PC をタブレット PC のように扱える「タブレットモード」が搭載されていますが、上記同様に TKC システムは「タブレットモード」にも対応していませんので、ノート PC では「タブレットモード」を利用しないでください。

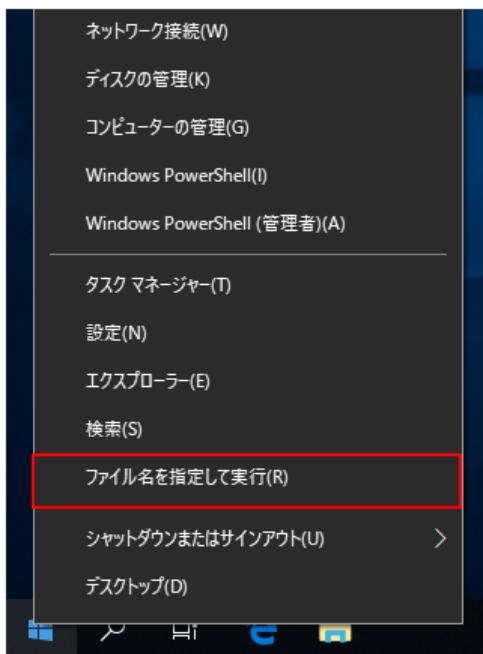
4. ログオンユーザーのセキュリティ特権の確認方法

インストールする際に必要となるセキュリティ特権の確認方法は次の手順で行ってください。

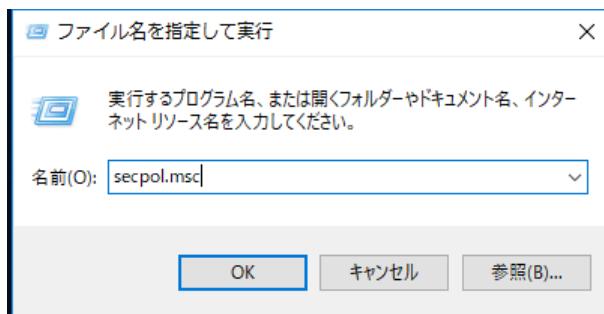
設定を変更する場合は、貴社の情報システムご担当者様に、設定変更の可否をご確認のうえ、作業を行ってください。

(1) ローカルセキュリティポリシーの設定画面を起動します。

①「スタート」ボタンの上で「右クリック」をし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。



②「ファイル名を指定して実行」画面で「名前(O):」に「secpol.msc」と入力します。

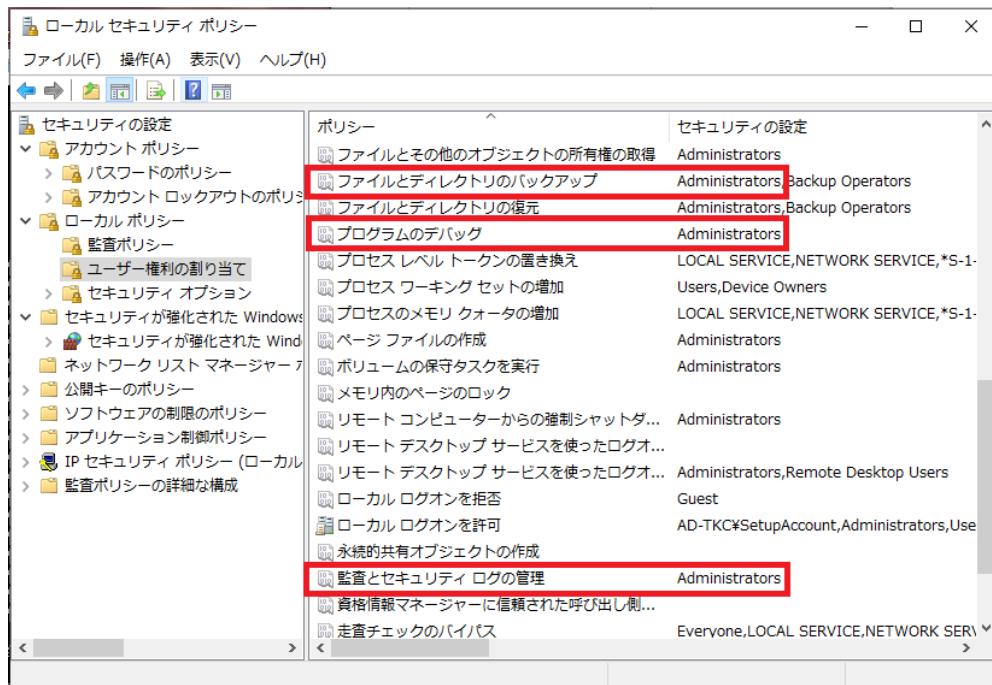


(2) ローカルセキュリティポリシー次の項目を確認します。

①画面の左側の「ローカルポリシー」-「ユーザー権利の割り当て」の順番でダブルクリックします。

②画面の右側に表示された項目から以下の3つの項目の「セキュリティの設定」に「Administrators」が設定されていることを確認してください。

- 1) ファイルとディレクトリのバックアップ
- 2) プログラムのデバッグ
- 3) 監査とセキュリティログの管理



※当画面において、3項目すべてに「Administrators」が指定されている場合は、これ以降の対処は不要です。

(3) 「セキュリティの設定」へ「Administrators」の追加

ここから下の対応は上記(2)②の3項目のいずれかに「Administrators」が設定されていない場合のみ行ってください。なお、設定を反映させるためには再起動が必要になります。

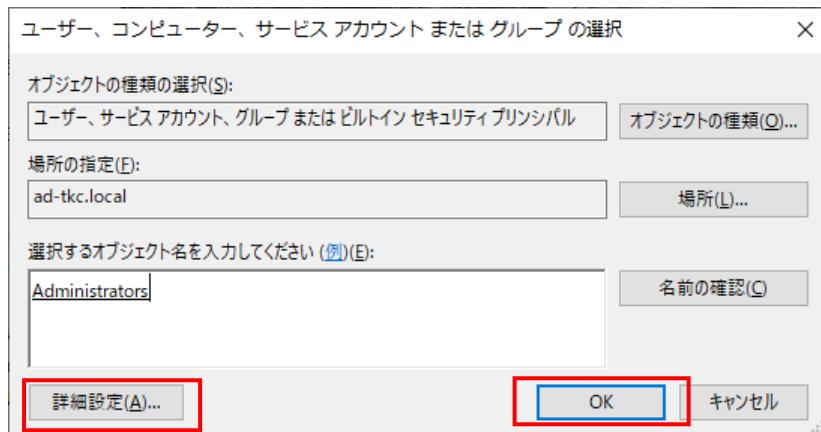
設定を変更する場合は、貴社の情報システムご担当者様に、設定変更の可否をご確認のうえ、作業を行ってください。

「Administrators」が指定されていない項目をダブルクリックで開きます。

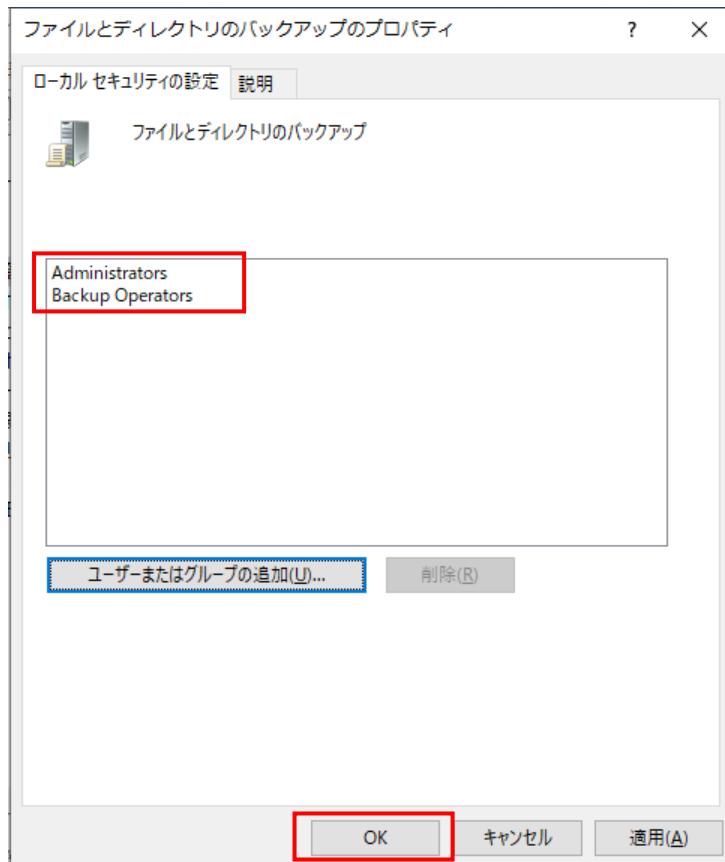
「ユーザーまたはグループの追加」をクリックします。



①「選択するオブジェクト名を入力してください」の欄に「Administrators」と入力しOKを押してください。



②プロパティ画面に戻り「Administrators」が追加されていることを確認してOKボタンを押して画面を閉じます。



③「Administrators」が未設定の項目を同様に完了したのち、必ず再起動してください。

※再起動しないと設定が反映されません。

(4) 当該設定を行う上での注意事項

ご使用になるパソコンが Active Directory (アクティブディレクトリ) のドメインに参加している場合は、貴社のセキュリティポリシーにより当該「セキュリティ特権の設定」の変更が無効にされている場合がございます。その際は、パソコンの再起動をしても、設定した内容が反映されないため、貴社のシステムご担当者様にご相談ください。

以上